

里山はっけん隊！ 2012 Winter



「はっけん！ ノート」

にち じ へいせい ねん
日 時：平成24年12月2日（日）8：45～16：00

こさめけっこう こうてん ばあい えんき
※小雨決行（荒天の場合、12月16日（日）に延期）

ば しょ けんりつちがさきさとやまこうえん
場 所：県立茅ヶ崎里山公園

しゅ さい ちがさきしかんきょうせいさくか
主 催：茅ヶ崎市環境政策課

きょう さい こうえきさいだんほうじん かながわけんこうえんきょうかい
共 催：公益財団法人 神奈川県公園協会

きょう りょく やなぎやと しぜん まな かい
協 力：柳谷の自然に学ぶ会

し 氏	めい 名	
--------	---------	--

さとやま 里山はっけん隊スケジュール



8 : 45 集 合 市役所西側駐 車 場

9 : 00 出 発

9 : 30 到 着 : 県立茅ヶ崎里山公園

- ① 調査場所に着くまでに周りのようすを見ておきましょう。
- ② 里山はっけんカードを使って観察をしよう。

12 : 00 昼 食 (お弁当) (県立茅ヶ崎里山公園「谷の家」及び周辺広場)

13 : 00 ワークショップ (県立茅ヶ崎里山公園「谷の家」)

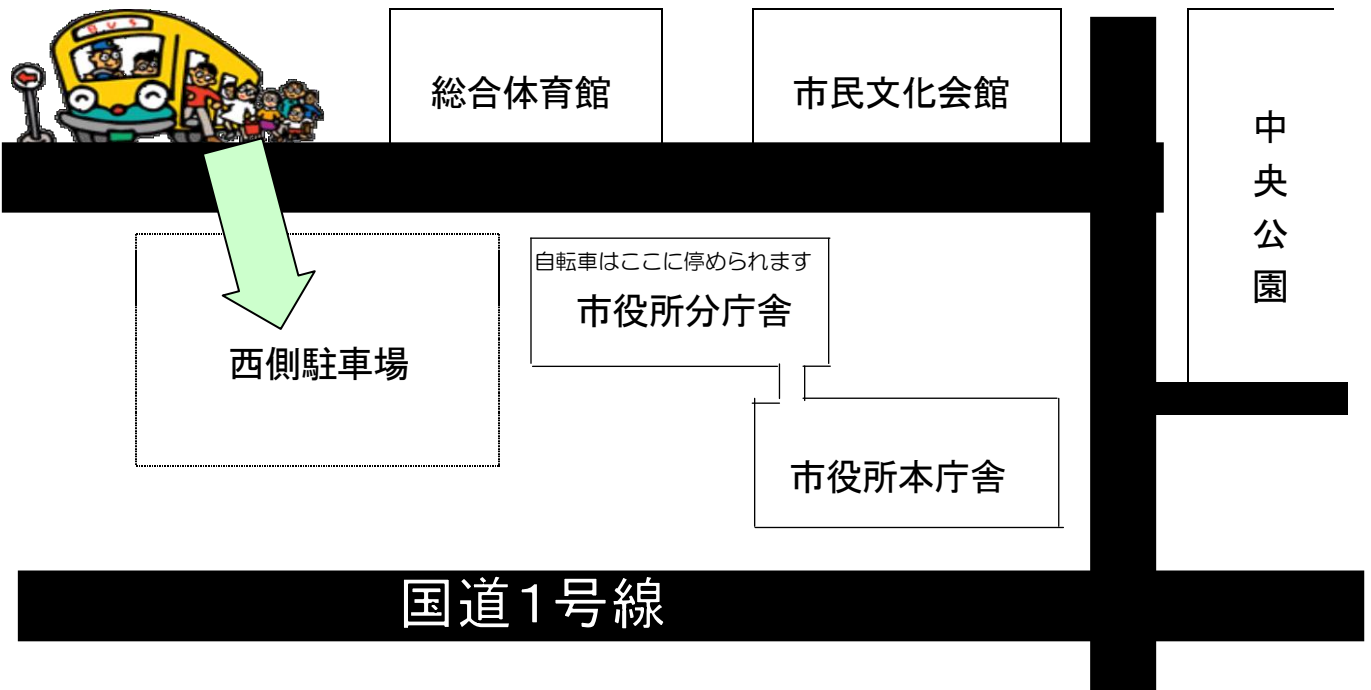
15 : 30 「谷の家」出 発

16 : 00 市役所着 解散

〔集合場所〕

おく
遅れないでね

※なるべく、環境にやさしい
自転車やバス、電車で来よう！



さとやま たい かいし まえ 里山はっけん隊を開始する前に…



◎持ち物

(必ず持ってくるもの)

- お弁当
- 水筒
- 筆記用具
- タオル
- この冊子と黄色い地図
- バンドエイドなど

(持ってくると便利なもの)

- 双眼鏡
- デジタルカメラ
- 虫取り網
- ビニール袋
- 雨具 (天候によって)
- レジャーシート
- 虫除け、虫刺されの薬

◎フィールドマナーを守ろう！

1. リーダーの言うことを良く聞いて観察しよう。
2. 大きな音や大声を出さないようにしよう。
3. 田んぼや畑には入らないようにしよう。
4. なるべく道を歩くようにし、踏み荒らしはしないようにしよう。
5. ごみは必ず持ち帰ろう。
6. 危険なものには触らないようにしよう。



※里山公園は平成26年度の全面開園に向け工事しているところがあるので、近づかないでね！



◎どんな服装がいいのかな？

植物のカブレ、虫さされ、トゲや枝による傷を防ぐために長そで、長ズボンで、帽子もかぶりましょう。寒くないよう、あたたかい服装で来てください。くつは、はき慣れた歩きやすいくつにしましょう。

さとやま 里山ってどんなところ？

みんなは里山って、どんなところか知っているかな？

里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境です。里山では、人間が水路を開き、田んぼや畑を耕し、雑木林の手入れをし、そうすることで、さまざまな植物や昆虫、小鳥、うさぎなど、たくさんの生き物が生きられる環境が保たれてきました。みんなのおじいさんやおばあさんが小さかった頃よりも、ずっとずっと昔から、人間は、食べ物や水や燃料など、生活に必要なものはすべて、里山のめぐみからいただきますながら、自然と調和しながら暮らしていたのです。



さとやま 里山に行ってみよう！

「里山はっけん隊！」の活動フィールドは、県立茅ヶ崎里山公園です。懐かしく美しい里山を目指して、平成13年10月に開園しました。（全面開園は平成26年度の予定です。）

公園内には、田んぼや畑、雑木林や水辺などからなる里山の風景が広がっています。今回（第3期）の「里山はっけん隊！」では、全4回シリーズで、水辺や草地、雑木林など、異なるエリアごとの環境を詳しく調べて、生き物や人の暮らしと環境との関わりを「はっけん！」します。

第1回「はっけん隊！」
(9月)で行ったのは、
このあたりだよ！

※県立茅ヶ崎里山公園全面開園
予定図(県立茅ヶ崎里山公園ホームページより)



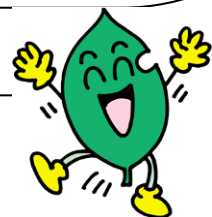
みんなで守る「コア地域」

茅ヶ崎市では、市内の自然を調査して、特に重要な場所を「コア地域」と決めて、みんなで守っていくことに決めました。「里山はっけん隊！」で行く、県立茅ヶ崎里山公園がある「柳谷」も、「コア地域」のひとつです。みんなで守っていくためには、その場所がどのような場所で、どうして重要なのかを、みんなが知って、どうやって守っていくか、みんなで考えることが大切です。みなさんも、大切な自然環境を守るため、里山はっけん隊！で分かったことを、お友達にも教えてあげてくださいね。



茅ヶ崎市の7つの「コア地域」(特に重要な自然環境)

次は、いよいよ、里山はっけん隊！のはじまりだよ！！
みんな、準備はオッケー！？



さとやま たい 「里山はっけん隊！」をはじめよう

① かんさつばしょ くわ し 観察場所を詳しく知ろう

さとやま かんきょう ～里山にはどんな環境がある？～

さとやま みずべ くさち じゆりん など、ちがったかんきょう く あ わさること、たくさんのいきもの はぐく まれています。こんかいある ところには、どんなかんきょう があるのか、ちょっとよしゅう しておこう。

こいでがわ
小出川

かわ
川

やなぎやと みず こいでがわ つう うみ
柳谷の水は小出川を通じて、海とつながっています。

やしきりん 屋敷林

ふる のうか やしき う じゆもく
古い農家の屋敷に植えられた樹木
は、ぼうふう ぼうか まきざい きょうきゆう
防風・防火や薪材の供給など
やくわり
の役割をしていました。

た 田んぼ

いね か と みず ふゆ かりた つち
稲を刈り取って水がなくなった冬の刈田では、土
のなか くさ い もの ふゆ
の中や草むらなどで、いろいろな生き物が冬を
のこ
乗り越えようとがんばっています。

しゃじりん 社寺林

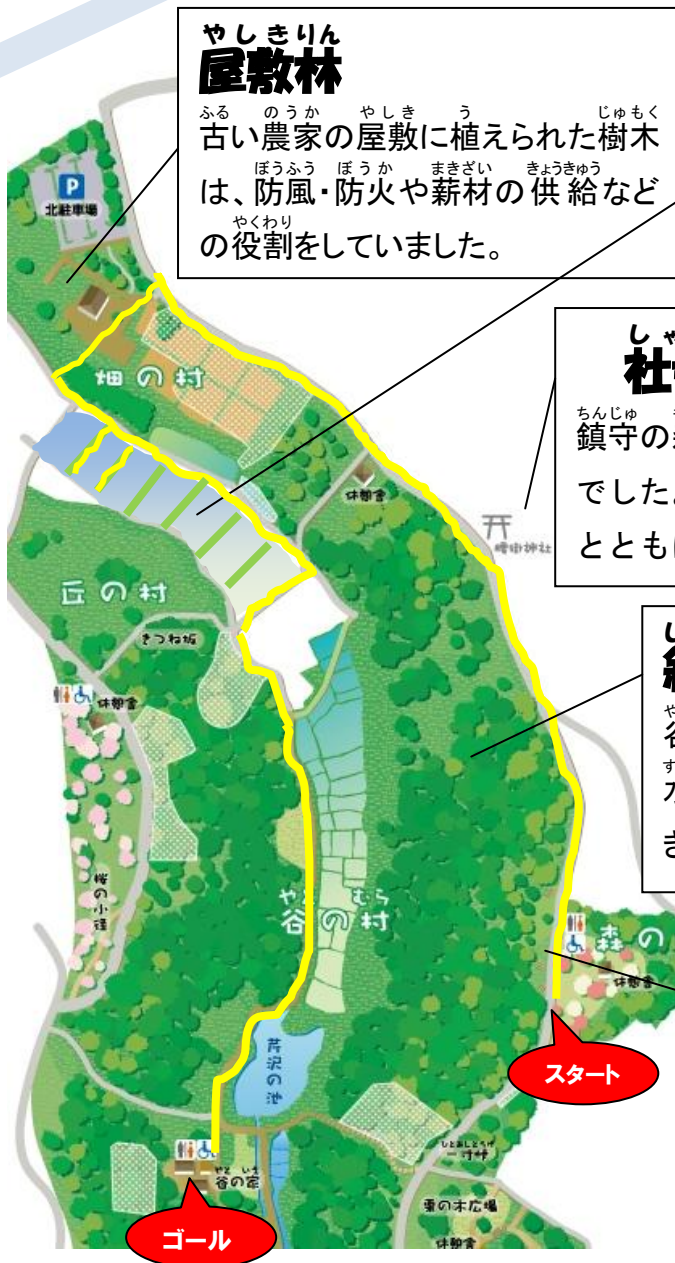
ちんじゆ もり かみ す ひとびと て い
鎮守の森には神が住むといわれ、人々は手を入れません
でした。こしかげじんじゃ じゆそう ししてい てんねんきねんぶつ
腰掛神社の樹叢は、市指定の天然記念物である
とともに、「ちがさきけいかんしげん してい
景観資源」にも指定されています。

しゃめんりん 斜面林

やと ふちど しゃめん はやし た みず きょうきゆう
谷を縁取る斜面の林は、田んぼに水を供給する
すいげん
水源となっていました。たった1本の木にも無数の生
もの かか ゆた せいたいけい い じ
き物が関わって、豊かな生態系を維持しています。

くさち 草地

なつ こんちゆう み
夏にはたくさんの昆虫が見つかる
くさち むし しょくぶつ
草地。虫や植物たちは、どこでどうして
いるんだろう？ よ～くさが 探してみよう。



② 「はっけん！」スタート

～ポイントは「^い生き物」と「^{ひと}人」～

いよいよ楽しい観察タイム！次のはっけんポイントに注目して、見つけたモノや場所を「はっけんカード」と黄色い地図に記録してね（カードは当日配ります）。カメラを持っているスタッフに声をかけて、写真も撮ってもらおう！

はっけんポイント①

^い生き物をはっけんしよう！（^{しぜんかんきょうちようさ}自然環境調査）

夏にたくさん見られた植物や生き物たちは、どうしているでしょうか？ 枯れてしまった？ どこかに消えてしまった？ いえいえ、よ～く探してみてください。植物や虫たちは、冬に合う姿に変身して冬を越しています。また、寒くなると鳥たちが平地にやってきて、見られる鳥の種類や数が多くなります。木の上や空にも注目ですよ！

★こんなものいるかな？ どこにいるかな？ なにしてるのかな？



^{じょうず} 上手に ^{へんしん} 変身している ^い 生き物 ^{もの} たち。
きみはいくつ「はっけん！」できるかな？



はっけんポイント②

ひとのかか 人の関わりをはっけんしよう！ (しゃかいかんきょうちようさ 社会環境調査)

さとやま ひと て くわ たも かんきょう さとやま ひと かか
 里山は人の手が加わることで保たれている環境です。里山と人との関わりを「はっけん！」してみよう。ひと ふく しぜん
 う。人も含めて、自然がみんながつながっているのがわかるかな？

ひとのかか ★人との関わりってどんなもの？

たとえば

- ☞ た 食べられる植物… (た しよくぶつ)
- ☞ どうぐ 道具になる植物… (どうぐ しよくぶつ)
- ☞ のうさぎよう 農作業に関わるモノ… (のうさぎよう かか)



たとえばこんなすてきな景色も、
 しぜん ひとのかか
 自然と人との関わりがあってこそものなんだ。
 リーダーの話も聞いてみよう。



はっけんポイント③

じぶん 自分のお気に入りをはっけんしよう！

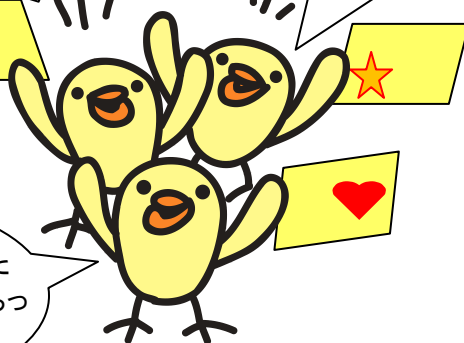
さとやま ある じぶん す おも ぼしよ きいろ ちず しるし
 里山を歩いていて、自分が「いいな」「好きだな」と思った場所があったら、黄色い地図に印をつけて
 ね(○でも☆でもなんでもいいよ)。さとやま みちか だいす
 里山がもっと身近になって、もっと大好きになれるかも！？

ある たの 歩くのが楽しかった
 「ぽかぽか小道」がお気に入りよ

なんだか走りたくなる「かっけ
 っこ田んぼ」が一番だな

むし 虫をたくさん見つけた
 あそこは「むしむしはらっ
 ぱ」だぞ！

ばん き い
 一番のお気に入り
 ぼしよ 場所には、自分だけの
 な つ
 あだ名を付けちゃおう♪



み
いいもの見つけた！

さとやま

里山たまたまばこ

ふゆ
～vol.2 冬～

こんかい
今回のテーマ

かまど
「竈」

「かまど」は薪や藁を燃やして
煮炊きを使う、現代のコンロにあ
たる道具です。燃料にする「燃し
木」は雑木林などの里山の恵みか
ら得ていましたが、地元の方のお
話では、昔は燃し木を集めるの
にとっても苦労したそうです。かまどでは強い火力が出せる
ので、ご飯がとってもおいしく炊けると言われています。
「里山はっけん隊！」では、かまどを使ってご飯を炊
きます。どんな味がするのか楽しみです！



ちがさき こめ 茅ヶ崎のお米のはなし

しぜんをまもる「湘南タゲリ米」と「谷戸の黒米」～

「里山はっけん隊！」では、2種類の茅ヶ崎産のお米を使って「特製おむすび」を握ります！「湘南タゲリ米」は、渡り鳥「タゲリ」の飛来地を守るため、茅ヶ崎の自然保護グループが、タゲリが越冬する田んぼの農家から、高く買い取り販売しているお米です。「谷戸の黒米」は、今回「はっけん隊！」で訪れる「黒米田んぼ」でとれたお米で、市民グループの方たちが休耕田を整備してつくっています。

田んぼがなくなると困る生き物がたくさんいる一方、生き物たちのために、田んぼを守る活動をしている人がいます。そうした田んぼでとれたお米を食べることで、私たちも生き物たちを応援しましょう！

× モ ～自由じゆうにつかってね！



じかい さとやま たい
次回の「里山はっけん隊！」は
へいせい ねん がつ よてい
平成25年4月の予定です。
い もの うご はじ はる さとやま
生き物が動き始める春の里山で、
みんなにあ たの
みんなに会えるのを楽しみにしています。